**令和３年度南薩支部第１回研修で提出された意見の集約について**

**～今後の南薩支部が行なっていく研修について～**

１０月３０日に行なわれました南薩支部研修におきまして「今後の南薩支部が行なっていく研修について（期待すること）と（不安に思うこと）のご意見を皆さまからFAXで送っていただきました。これを今後に活かすべく、皆さんと共有をとりたいと考えております。今後の検討に活かすためにもと下記の通りにくくりを作ってみました。

**「多様な研修参加のあり方、リモートへの期待と不安、ハイブリッド型研修」**

**「ケアマネの不安・悩み、相談対応、地域ネットワークづくり」**

**「地域支援づくり、地域の課題対策」**

**「ICT化の促進」**

**「更新研修のおさらい、情報交換」**

**「興味を引く意義ある研修、定期的な開催」**

**「県外zoom研修の情報提供」**

**「月いちペースのミニ研修、地域連携」**

**「スキルアップ研修」**

**「医療と介護の連携」**

**「災害時の対応」**

**「社会情勢に応じた研修」**

**「障害関連」**

ひとつひとつのご意見は以下の通りです。

**「多様な研修参加のあり方、リモートへの期待と不安、ハイブリッド型研修」**

　（期待すること）

　・市町村ごとにメイン会場を作り、オンラインで結び、少人数の研修ができるようになったら

と思いますが、法人の理解がないと難しいかもしれません。

　・オンライン研修が続くことで、年配者（オンライン研修否定派）もICT化に進んで行くこと

を期待する。

　・少単位で研修開催してほしい。

　・近い地域での、ハイブリッド型、完全オンライン研修が日常的にできると移動時間の短縮が

できて、研修への参加が増えてくるかもしれない。

　・ハイブリッド型やzoom研修へ移行をすすめてほしい。（費用削減）

　・各町村の公的機関で希望者は集まりWi-Fi環境が整った中で研修できるのではないでしょう

か。

　・感染が落ち着いてもオンライン研修は必要だと思います。移動がない分、時間が有効に使え

ます。

　・オンラインで行えると時間的な制約が少なくなるので良い。参加しやすい。仕事の合間に

受けられる。

　・オンライン研修は、移動しなくていいので、時間の効率がいいのでは。数十分でも参加しや

すい。

　・Web研修のよさとして（コロナに関係なく）会場へ行く時間を削減できる。自宅またはそれ

以外でも受講できるので会場できくこと、Webでも受講できる体制であってほしい。

　・サテライト会場あるとよい。

　・リモートでの研修の場合、会場まで出向く必要がないので多くの人が参加できると思う。

（不安に思っていること）

　・オンライン研修になることで研修への参加が容易になる反面、他のCMとの交流機会が減少

して情報が入りにくくなるのではないか。

　・業務増と教育研修を受けていくことの両立が難しく、しんどくなる･･･。というところでは、

オンラインは良かったのか･･･

　・zoom　便利だが、講師が話している内容をしっかり落とし込めていけるのか･･･。

対面だったら、さっきの話は～～と語って振り返ることが出来るけど、だからこそのOJT

なんだろうけど、それが受けられるCM、受ける意向のあるCM、いろいろ差がある。CMの質

に大きく差が出てくる（利用者の自立支援に向けたプラン作成が出来るのか）心配。

　・お互い顔のみえる関係作りがすぐにはできないと思う。

　・ケアマネ同士顔を合わせる機会が少なくなり情報が入らず、また関係性がうすくなるのでは

ないかしらと考えられる。

　・1人居宅ですが、デイサービスとつながっている為、訪問客や℡、ナースコールなど集中

して研修を受けることが出来ませんでした。このような研修の状況で年160時間を超える

研修に参加できるのでしょうか･･･ホームページに主任更新に必要な研修一覧がほしいです。

更新が不安です。

　・ケアマネ1年目なのでオンラインだとネットワークづくりがしにくい。

　・少人数でも集まれる機会があればよい。

　・zoom研修になると時間の融通がきき、移動時間がなく参加しやすくなる反面、CM同士が

顔を合わせる機会が減り、関係性が薄くなる不安はあります。

　・オンラインの活用は、事業所単位の参加になり、個人参加が難しくなるのではないでしょう

か。

　・オンライン不可（職場）の研修へのサポート体制はない？ICT化が進まないので今後参加

できないかも不安。

・zoom操作に慣れていないので、グループセッション等になったときスムーズに意見のやり

とりや思っていることが話せるか

　・南薩支部の中でのつながりが持てないので、研修に参加することに勇気が必要。

　・リモート研修に慣れていない。

**「ケアマネの不安・悩み、相談対応、地域ネットワークづくり」**

（期待すること）

　・各地域主任を取ったCMが増えました。主任更新が出来るように先輩主任様の更新の様子

（書類や研修）を教えていただきたいです。

・地域CMの相談に乗ることが数回ありました。記録の仕方、更新時の提出が気になって

います。教えていただきたいです。

　・集まって研修は他のケアマネと交流できる。

　・他の事業所の人からの情報が少なくなったと感じている。コロナ禍での業務や工夫している

こと等を情報交換できるとありがたい。

（不安に思っていること）

　・今後、高齢化社会が進んでそれに伴い人材不足に拍車がかかるだろう。知識ももちろん

必要ですが、悩みや不安を気軽に相談できる対策をしてもらいたい。

　・集まって受ける研修がなかなかできない中で、一人CMが従来以上に不安になっていると

思われる。

　・zoom等のICTを活用しての研修を通じて、他ケアマネとの意見を行なう機会を作って

ほしい。

　・研修内容について行けるのか不安。

　・オンラインが主になっているため、実際に集まって会う機会がなく、研修でしかたくさんの

ケアマネと交わることがなく、情報交換等、今後どうなっていくかと感じる。

　・関係性、うすまる。

　・ケアマネに対する（居宅介護支援）理解を他部署や他職種に深めてもらう効果的な方法は

ないか悩んでいる。他のケアマネに聞けるような研修があったらいいのに。

**「地域支援づくり、地域の課題対策」**

（期待すること）

・地域の事情に合った実践に活かせる具体的な研修に参加したい。

・弱者、重度の要介護者が多いため、地域支援づくりを期待する。

・保険者を巻き込んだ地域支援の研修。

・地域支援が進んでいかない。弱者を助けられる仕組み作りにつながる研修を期待する。

・各事業所の法人の特色やCMの元職（医療系・介護系）によって、ケースの得意、不得意

分野に差があり、包括等からの紹介の偏り、受け入れ拒否等に繋がっているように思える。

どの事業所においてもどんな事例でも対応できるよう、専門的な講義や研修を受け、事業所

の格差をなくしていってほしい。

（不安におもっていること）

・南薩地区には社会資源が少ないためよりよいケアマネジメント等を行ない利用者に最適

な資源を提供しようと思っても選択肢が少ないため、研修と実践の違いの差が大きく開いて

しまう可能性があると考えている。（社会資源の開発を進めてほしいと感じている。）

・保険者を巻き込んだ研修。重度要介護者が多い。

・社会資源作り

・研修とは関係ないですが介護職の人材不足が進んできている。

**「ICT化の促進」**

　（不安に思っていること）

　・ICTの活用に詳しい人材がほしい。

　・オンラインの操作などが苦手で、操作が出来る方に準備など手伝っていただいている状況で

す。

　・zoomの操作やチャットの活用など不慣れなので研修の際対応出来るか不安。

　・ICTの活用が言われており有効と思われるが一向に職場では進んでいかない。パソコンの

メールすら一人一人に与えられていない。職場環境、時代に乗りおくれている状態である。

ICTの活用に詳しい人材がいない。お金がない。

　・オンラインなど設備が不十分な事業所もあると思います。当事業所でも最近、事業所パソコ

ン、Wi-Fi環境ができたばかりです。法人の協力がないとまだ不慣れです。

　・オンラインでグループワークの説明がありましたが、操作できるか不安です。

・オンライン研修はとても便利です。でも、ICTに慣れてくるのに時間がかかりそうです。

チャットなどの機能を使いこなせるかが不安でいっぱいです。

　・Web研修に苦手意識を持っている方への対応、不参加になるのでは？　そうならないため

もサポート体制をつくっておく（支部、職場）

**「更新研修のおさらい、情報交換」**

　（期待すること）

　・好事例の振り返りや検証など情報共有できればと思います。例として「地域資源を発見し、

資源の開発につながった。」「看取り事例」「危機管理（感染症対策）（災害対策）」

　・経験談や手法をたくさん紹介していただき、わかりやすく、身につけたい。

　・定期的にベースであるケアマネジメントがしっかりできているのか、自己確認できる内容の

研修を受けたい。

　・プラン作成において判断に悩むことを語り合う場がほしい。

　・様々なケースへの対応力を向上するため、事例検討やケアマネジメントの実例を用いた内容

の研修を受けたいです。

（不安に思っていること）

　・コロナ禍となり、研修がなくなり、専門１でもグループワークが実施できず、他ケアマネ

意見を聞く機会がないこと。

**「興味を引く意義ある研修、定期的な開催」**

（期待すること）

　・研修の重要性、改めて痛感したと同時にズームによる研修は今後も定期的に継続していく

べきだと思った。

　・参加しやすくなるので、時間がとれればいろいろな研修に参加したい。

　・研修会場に行くまでの時間が省くことが出来るので興味を持った研修に参加しやすくなる。

　・ただでさえ研修が多い。負担にならないよう、今日、研修にきてよかったと思える内容に

してほしい。

（不安に思っていること）

　・学ぶ機会が少ない（環境が離れてしまうことにより）

　・学ぶ機会の減少

**「県外zoom研修の情報提供」**

（期待すること）

　・リモート研修が増えてきており県外の研修にも参加しやすくなっているので研修の機会に

ついて情報提供してほしいです。

**「月いちペースのミニ研修、地域連携」**

（期待すること）

　・コロナ禍だからこそ今回のようなミニ研修と短時間で定期的に行なっていくのはいかか

でしょうか？　例：第3金　15：30～30分　zoomによる情報交換や事例検討。参加：自由、

事例提供：輪番制、意見等事例提供事業所へFAXを送る。など。移動時間が短縮でき利用者

へ時間をとることができるようになる。

**「スキルアップ研修」**

　（期待すること）

　・スキルアップ研修に新人～5年未満のケアマネも参加しやすいものだったら良いと思う。

　・スキルアップの研修を期待する。

　・主任ケアマネスキルアップ研修に他のCMも参加できるような配慮があれば、全体的にスキ

ルアップ出来るほか、主任CMへの相談しやすい関係作りもできると思います。

**「医療と介護の連携」**

　（期待すること）

　・医療と介護の連携についての研修をしてほしい。

**「災害時の対応」**

　（期待すること）

　・災害時の対応、備えについて

**「社会情勢に応じた研修」**

　（期待すること）

　・社会情勢の変化に応じた研修

**「障害関連」**

（期待すること）

　・障害関連との連携の研修。